



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム RI.D2590ガバナー／高良 明 横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F/〒241-0821

TEL.045-365-3273/FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2016年11月16日 第2268回例会 VOL. 48 No. 19

■司 会 SAA 安藤 公一

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 手に手つないで

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	21名
本日の出席率	87.5%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

五十嵐、関口、斎藤

■他クラブ出席者

本山 雄三 (横浜瀬谷 RC)

■ゲスト

朝倉 春菜様 (R 財団奨学生)

■皆出席者表彰



佐藤 真吾会員 14年

■地区大会表彰

長寿会員 吉原 則光会員

■会長報告

災害支援委員会の活躍ご苦労様です。今回は熊本被災地支援、被災地へ横浜市の放置自



転車100台を送る件、参加された皆様、慣れない肉体労働ご苦労様でした。瀬谷RCから石井会長、長谷川幹事、露木・市村・柳沼・井上会員等のご支援も戴きましたので瀬谷RCの方々にお会いされたときはお礼をお願いします。また、横浜銀行鶴ヶ峰支店から、我々より若い行員さんお二人のご支援も戴きました。ハンドル作業・買い物かご取り外し作業は、三倍以上のスピードでした。ぜひ横浜銀行鶴ヶ峰支店から無理しても借入れをお願いします。

ガバナーが来られましたとき、「地区は委員会を減らすと言いながら、5大奉仕をまとめて、クラブ奉仕委員会の設置、戦略委員、リーダーシップ研究会と委員会が増加している」と疑問を呈しましたら、ガバナーよりガバナーエレクトに伝えておきます。とのご返事でした。信頼できるか不安です。

地区大会1日目の卓話は、第2800地区バスターガバナー藤川享胤(ふじたきょういん)氏でし

た。今回の規定審議会においての問題点についての矜持がありました。氏はRIにおいて多くの役職を歴任しておられます。RI 分担金の増額に対して、RI の事務総長の投資の失敗を補うためとのことです。また、RI の財団委員長も同様に投資の失敗をしたとの報告がありました。

ロータリーは異業種の集まりであり、例会は人間形成の場であると言われていました。が、規定改正により主婦でも、誰でもよいことになり、ロータリーの奉仕の一つ、職業奉仕を無くしても、会員の大幅な増強に進もうとしています。例会を月2回以上で良いとしたのは、会員を10万人増やして、人頭分担金の収入を増やし投資の失敗を補うための方策だとのことでした。

ロータリーには入会したとき、ロータリーブランドがあり、ロータリアンになった喜びがありました。例会等クラブの自主性に任せられました。

今回の規定審議会の決定は、RI の投資の失敗をロータリアンに負担させるためのものであり、この規定に沿ってのクラブ細則の変更は、同好会になるのか、今までの精神を引き継ぐか、重要な分かれ目です。との報告がありました。我がクラブの規定改正委員会の皆様は、本物のロータリアンです。是非よろしくをお願いします。

以上により、特別委員会を再々編成しましたのでよろしくお願い致します。再々編成の会員は次の通りです。

○事務所移転検討委員会

委員長 内田 敏
委員 五十嵐 正 新川 尚
齋藤 善孝 太田 勝典

○50周年準備委員会

委員長 安藤 公一
委員 今野 丁三 吉原 則光
岡田 清七 二宮 登
後藤 英則

○規定改訂委員会

委員長 佐藤 真吾
委員 関口 友宏 市川 慎二
増田嘉一郎

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○神奈川東ロータリークラブ

日時 11月18日(金) 優良職場訪、夜間例会

日時 12月23日(金)祝日休会

日時 12月30日(金)→23日(金)夜間移動例会
年忘れ家族会

日時 平成29年1月6日(金)休会
平成29年1月20日(金)夜間例会
神奈川 RC・神奈川東 RC
合同賀詞交歓会

○横浜保土ヶ谷 RC

日時 11月22日(火)→移動例会
場所 高尾山麓・多摩御陵散策

2) 当クラブ

11月30日の例会は夜間移動例会です。午後6時より二俣川の仕立屋で行います。

■研修・広報&雑誌委員会 増田嘉一郎
「ロータリーの友誌11月号の紹介」

1) 横組

7頁

「難民にシェルターを」という特集記事がでている。国連難民高等弁護官事務所が、難民200万人のためのシェルター建設、又は改善のために資金提供を呼びかけている。この記事では、具体的寄附の呼びかけ自体ではなく、高等弁護官事務所が世界各地で行っている援助活動の紹介をしている。財団奨学生の活躍とロータリー財団の資金が、この援助活動に使われており、今後も資金援助を続けていくことの意義を訴えているのであろう。

12頁

「日本のポリオ」という記事である。私が入会した20年以上前から、ロータリーはポリオ根絶を訴えてきているが、WHOは2000年までに全世界から根絶する旨の宣言を行い、2005年のロータリー100周年でも根絶をかかげたが、100%の達成はできず、現在もナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンがポリオ常在国となっている。

この記事は、日本の実情を紹介し、2000年には野生株のポリオが終焉し根絶したが、その後もポリオワクチンによるポリオウイルスが検出されており、このワクチン由来ポリオウイルスの伝播を止めることが、今後の課題となっているとのことである。全国の「生」ポリオワクチンの接種率が、年々低下し、2012年には67.2%とのことであり、この接種率の低下の阻止が、ポリオ根絶の今後の特に重要な課題とのことである。

26-27頁

熊本地震への復興支援活動が紹介されてお

り、豊中南ロータリークラブが、益城町の熊本りんどうロータリークラブの求めに応じ、子ども達への支援活動として、和太鼓の演奏を届けた記事がでている。27頁の方にも東大阪中央ロータリークラブによる上天草水族館への親子バスツアーが紹介されており、いずれも子どもの心のケアという視点からの活動となっている。

2) 縦組

4頁

当地区第4・第5グループ1Mでの講演「オープン・マインドを現代に活かす-小泉八雲から考える」の要旨が掲載されている。確か、ホストクラブであるあざみロータリークラブの当時の会長が松江の出身ということで、小泉八雲のひ孫と知人ということから、この講演を依頼したとのことであった。講演を聞いていて分かりにくかったという記憶であるが、改めて記事を読み直してみても、いいたいことは最後のところを読んで分かった。この講演は小泉八雲の功績は誰でも知っている著名人だという前提で講演されているのであり、小泉八雲の名前を聞いたことはあるが、何をした人か、具体的なイメージを有しない私には、講演は分りにくかったと言う事が改めて分かった。

9頁

「クラブを尋ねて」ということで米子ロータリークラブを紹介している。最後に記載されている「きらずが肥え」なることわざは、木は切らないことが一番の肥料だという教えとのものである。「きらず」には、おからの意味もあり、木を切ると掛けていのであるが、覚えておきたいことわざである。

16頁(13頁からの友愛の広場)

「インダクションに参加して」という投稿がある。インダクションとは、外国のロータリークラブで行われている新年度会長をはじめとする役員就任式のことである。

岩沼ロータリークラブでも、竹駒神社でおごそかに会長・幹事の就任式が行われていると聞いたが、当クラブでも取り入れ、会長をステータス化したなら、会長希望者が続々現れるのではと思った。

21頁

柳壇に、吉原会員の川柳がでている。

22頁

ロータリーアットワークに、逗子ロータリー

クラブの行った「森で学んだ地球の歴史」という記事がでている。当クラブでも平成5年に大池公園の青少年野外活動センターで、旭区内の青少年団体に所属する児童40名位を集め、「樹木と仲良しに」という一泊二日のプロジェクトを実施したことを思い出した。今は炊事担当の婦人部隊を集めることが難しいのかもしれないが、この大池公園の施設は、地元ロータリークラブとしては宝のもちぐさであり、是非有効活用を考えたい。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

青木 邦弘/朝倉さん、今日もよろしくお願ひします。クリスマス例会もクラブ全員が楽しみにしています。

北澤 正浩/朝倉春菜様、ようこそいらっしやいました。卓話よろしくお願ひ致します。

増田嘉一郎/①19日に社会教育で公労があったということで、文部科学大臣表彰を受けました。来年は何があるか、恐ろしいです。②朝倉さん、ようこそ。卓話を楽しみにしています。

滝澤 亮/①新川ロータリー財団委員長、フォーラムよろしくお願ひします。朝倉様よろしくお願ひします。②先日長女の恵が結婚いたしました。年内は新居リフォーム中に出ていきません。新年から一人暮らしになります。

佐藤 利明/朝倉春菜さん、ようこそ。今日の卓話楽しみにしています。

安藤 公一/①朝倉春菜さん、ようこそ。本日は宜しくお願ひ致します。②昨日の熊本への自転車積み込み作業に参加された青木会長、関口さん、内田さん、五十嵐さん、お疲れ様でした。天気が良く、瀬谷RCのお手伝いもあり前回より楽でした。

佐藤 真吾/①朝倉さん、ようこそ。卓話よろしくお願ひします。②皆出席祝いをいただき有難うございます。

吉原 則光/①朝倉様、お忙しいところ卓話いただき有り難うございます。よろしくお願ひします。②今月号に川柳一句がのりましたのでニコニコに+アルファしておきます。よろしく。

二宮麻理子/朝倉さん、本日は卓話よろしくお願ひ致します。

大川 伸一/朝倉さん、ありがとうございます。本日の卓話よろしくお願ひします。12月のクリスマスも楽しみにしています。

新川 尚／朝倉さん、ロータリー財団月間卓話宜しくお願いします。

鈴木 茂之／皆さん、こんにちは。本日の卓話朝倉様、よろしくお願ひします。

市川 慎二／朝倉さん、ようこそ。卓話宜しくお願い致します。

本山 雄三／朝倉様、ようこそ。本日の卓話よろしくお願ひします。

後藤 英則／朝倉さん、本日の卓話楽し味にしています。

■卓話「ウィーンの留学生活報告」

朝倉 春菜



こんにちは。私は2015-2016年、地区奨学生としてウィーンに留学しておりました、朝倉春菜です。本日は、ウィーンでの留學生活の事をご報告させて頂けたらと存じます。

先ずはじめにウィーンらしい1枚を御紹介したいと思います。こちらはウィーンの王宮の庭で、バラ園が開催されていたときのものです。



ウィーンの庭園

ウィーンはハプスブルク家の文化や建物が数多く残っており、この庭園もかつてはハプスブルク家の持ち物でした。ウィーンには至る所にハプスブルク家御用達の～、のよう建物やレストランなどが数多く存在します。余りに多過ぎて、本当かな？と疑いたくなりますが、それだけハプスブルク家、特にマリア

テレジアの人気は今も健在です。

今日は、日常生活や学校生活の事、ロータリーの方々との事、それから特に印象的だった事などを御紹介させて頂ければと思います。

私が住んでいた家はウィーンの18区というところで、中心街からは離れていますが、閑静な住宅街にありました。ウィーンでは一軒家を持っている人はあまりいません。郊外の地区ではいますが、ウィーン市内だと9割ほどがマンション住まいになります。しかしその分、ひと世帯の持つ部屋の平均面積は日本よりもずっと広いです。ウィーンのマンションは2種類あって、旧マンション、新マンションとあります。旧マンションは外見は100年以上前のもので、中身だけ今の生活(キッチンやバスルームなど)にリノベーションしているものです。この建物もそうです。しかし旧マンションにはエレベーターが付いてない事が殆どです。あっても、1人か2人しか入れないような、チェーンの音がカタカタする昔の映画に出てきそうなものだったりします。しかしウィーンの人古いのを好む傾向にあるので、新マンションより旧マンションの方が人気があったりします。特に中心街では、街の外観を大切にするために、新マンションは全くありません。地震の無い国だった事もあると思うのですが、今もハプスブルク家が生きていた何百年も前の街の風景を、守り続けています。私のホストカウンセラーだったクルト・ドイチュさんは、ウィーンにマクドナルドとスターバックスができることをとても嫌がっていた位でした。

ウィーンは音楽の都と言われるだけあって、音楽可の物件の数も多いです。しかしながら、音楽されてない方も一緒に建物に住むわけで、苦情がくるケースもあります。音楽家や音楽学生にとっては、家を決める上で、最もと言っていいくらい重要な問題でした。私の場合大変幸運で、大家さんが音楽家で自分が部屋で沢山練習したい為に、その隣は敢えて音楽の人を探していました。お陰でお互い全く気兼ねすること無く、音楽を練習する事ができましたし、大家さんがいらっしやらない時は、グランドピアノが2つもある練習室を貸して下さいました。

私が留学していたブライナー音楽院オペラ科の教室では、大体いっぺんに4～5本のオペラを同時に勉強するので、追いつくのに必



ブライナー音楽院のホール

死な毎日でした。歌手と指揮者の為のクラスでは、学内公演で共演があり、こちらのホールで歌いました。私はモーツァルトのオペラ「後宮からの逃走」を歌いました。

ご縁があり、ウィーン国立歌劇場の先生方にも毎月レッスンをして頂いておりました。今ちょうど、来日公演で歌劇場がフィガロの結婚を県民ホールで上演しています。ウィーンから劇場の沢山の方がいらしているので、(ニューグランドホテルにお泊まりでした)ので、公演期間中は街を案内したり通訳をしたりしておりました。また先日はリハーサルにも招待してくださったり、日本での講習会で通訳として使ってくださいたり、ウィーンでのご縁が今も続いており、素晴らしい経験を沢山させて頂きました。

ウィーンには至る所にトラムが走っていて、トラムと車と、そして馬がひく馬車が同じ道路を走る光景はウィーン独特のものでした。

自宅近くに教会があり、どの地区にも教会がありました。この教会は毎日 18:00 ごろ鐘が鳴るのですが、17:45 だったり 18:15 だったり、大体 18:00 という感じで、もしかしたら人がその都度鳴らしているのかもしれないと思うと、ぴったりじゃないところがヨーロッパらしいなと思っておりました。

次に、音楽を学ぶ上で特に私の中で大きかった 2 つの出来事についてお話しさせて頂ければと思います。

まずひとつはチロルでの講習会に参加したことです。世界各国から若手の歌手が集まり、短時間ですが共に勉強するもので、私は大学の先生に推薦頂いて参加させて頂いたのですが、ウィーンにいるときはまた違ったアプローチができました。チロル地方はアルプス



上：講習会のあったチロル風景

下：講習会参加者の仲間たち



に隣接したオーストリアの西部にあり、ウィーンからは電車で 6 時間ほどです。

実はこの時期はシリア難民の時期と被っていた為、最終着地駅がドイツであるこの電車は、大変な混雑でした。これは食堂車両なのですが普通座席は満員で、やはり治安がウィーンとは異質なものを何となく感じて、この時期はヨーロッパ全体が不穏だった様に思います。ただイタリアやスイスとの国境付近のアルプスを通るので、車窓は絶景でした。

各国から参加者が集まり、オーストリアは勿論、フランス、ロシア、韓国、アメリカ、ブルガリア、など沢山の国から歌手が集まりました。午前中は歌のテクニックの個人レッスン、午後は演技のクラス、夜は毎晩開かれる街のコンサートに出演するというようなプログラムでした。アルプスの少女ハイジが出てきそうな、ど田舎なので、街の灯りがほとんどありません。街といってもほぼ牧草地帯なので、人より牛の数の方が多いのでは無いかと思うくらいです。しかしある意味日常と隔離された場所で、音楽の事だけに集中できた時間は、今思い返しても、なんと幸せな時間だったのだろうと感じます。牧草地を歩くと、20 匹位の放牧された牛が一斉に動きを止

めてこちらを見て、私が通り過ぎるまで皆が目を追っています。半に恐怖を感じたのは初めてでした。

ある晩、先生の提案でそれぞれの出身国の歌を披露しようという事になりました。日本の歌は何が良いだろうと皆で話した結果、皆が唯一知っているのが、さくらさくらでした。日本の曲を紹介出来たことはとても嬉しい経験でした。最終日には皆で湖畔を走る馬車に乗り、食事をし自然を満喫しました。今もこの時のメンバーとは交流が続いており、お互いの近況を国は離れていても教えあったり喜び合える事は、私の大きな宝物になりました。

もうひとつは国際コンクールに参加させて頂いた事です。チェコの作曲家のドヴォルザークを銘打ったコンクールで、第50回国際音楽コンクールです。参加者はドヴォルザークの作品を歌う事を義務付けられていました。ドヴォルザークの音楽は、西ヨーロッパの音楽とは違い、国民楽派と呼ばれています。代表曲はモルダウですが、雄大でスラブ民謡などにも通じる独特な音楽の作り方をしている、その国を訪れてみて、そういった音楽が生まれる所以を肌で感じる事が出来た気がします。オーストリアとは国民性も国の雰囲気も異なります。写真からもお分かり頂けるかと思うのですが、街の色彩感も暗く、重厚な雰囲気でした。ウィーンから長距離バスで行ったのですが、段々街が整備されていないというか薄暗い印象になってくると、そこがチェコでした。チェコとの国境ではパスポートチェックがあるのですが、警官が突然入ってきてバスの乗客のパスポートを全部持って外に行き、私達はバスの中で待たされるという状況でした。警官が私服だったので、あの人が本当に警官なんだろうか、とずっと疑っていました。ちょうどシリア難民でヨーロッパの治安も不安定だった事もあり、パスポートが返ってきた時にはとても安堵したのを覚えています。

こちらはコンクールが行われたホールです。ホール内は写真厳禁だったので、外観だけになってしまうのですが、歴史のあるホールでした。コンクールではありがたいことにファイナルラウンドまで進む事ができました。国際コンクールは基本的にどこで開催されても、英語のインフォメーションが流れるものなのですが、最終ラウンドではチェコ人ばかりに



チェコのドボルザーク国際音楽コンクールが行われた歴史ある建物

なってしまった為、英語のアナウンスがいつの間にかなくなってしまいました。私だけ明日の集合時間も分からず困り果てていたら、お客でいらした女性がたまたまドイツ語が話せた為、チェコ語のインフォメーションをドイツ語に私に通訳して下さいました。そうやって見知らぬ土地でもそういった方に助けて頂き、無事自分の音楽を演奏する事が出来ました。

留学生活で学んだ大きなもののひとつは、そういった人の優しさや親切によって生かされているのだと感じる事ができた事です。それは結果や技術よりも、より強く自分を後押ししてくれるものとなりました。終演後はもちろんチェコビールを飲んで帰ってきました。

そして、ロータリーの奨学生だったからこそのご縁や恩恵も頂きました。写真は先程も少しお話させて頂いた、ホストカウンセラーのクルト・ドイチュさんです。1人ではどうにもならないトラブルが起こった時、いつも迅速に対応下さり一緒に解決して頂きました。私がウィーンで歌う舞台は、必ず応援に駆けつけて下さいました。他のロータリアンの方々もそうでした。私がロータリーの奨学生だと分かると、初対面にも関わらず、無条件で親切にして下さり、沢山の事を教えて下さいました。私が参加させて頂いたロータリークラブ・ウィーンインターナショナル地区の例会は、なんとザッハトルテで有名なホテルザッハーで行われていました。今までザッハーのカフェには入った事が有りましたが、例会場のある奥のサロンには入った事がなく、凡人が入っても大丈夫なのだろうかという雰囲気でした。こちらが例会会場のあるサロンです。しかしロータリアンの方達は皆大変暖

かく、歓迎して下さいました。私の拙い卓話にも真剣に耳を傾けて下さいました。バナーの交換もさせて頂きました。一緒に写っているのは、委員長のシャロン・エーリッヒさんです。お土産にザッハトルテも頂きました。クラブの会長もそうですし、大変女性の割合が多いのが印象的でした。もちろん男性もいらっしゃるのですが、写真を撮ってくださったのが男性で、なんだか女性が強いクラブでした。しかしこの写真を撮ってくださった男性はウィーンでも有数の大企業の取締役の方で、他の方もそうですが、名刺を頂いてビックリするような方達ばかりでした。私は卓話の中で、ウィーンが他者といかに共存していて、それにとっても感銘を受けたという話をしました。ウィーンには純粋なオーストリア人はごく一部です。ヨーロッパ近隣を始め、中東、アジア等沢山の民族が生活し、共に仕事をし、コミュニティを持ち、共に生きています。

また、バリアフリーに対する配慮が本当に素晴らしいです。ウィーンでは、先程写真であげたような昔ながらの外観を重視した路面電車と、段差の無い新型の路面電車が5分起き位に交互に走っています。そしてどの駅にも、どちらの電車があとどれ位で来るかのアナウンスがあります。車椅子に乗って入れる施設や建物の数も、日本よりずっと多いです。交通機関には犬も乗れる為、犬の一年定期券まで存在しています。ウィーンの影響として私が1番びったり来る言葉は「共存」でした。

ロータリーの方々、音楽の先生や仲間、家族や友人、私はウィーンで沢山の方にお世話になりました。帰国前には感謝の気持ちをお伝えしたくて、私はお世話になったロータリアンの方や先生や友人をご招待し、同じくウィーンに留学していた日本人の音楽仲間とコンサートを開きました。最後に皆さんにお会いでき、喜んで頂いた事はとても嬉しかったです。

このようにウィーンでは、日本では出来ない素晴らしい経験をさせて頂きました。多くの音楽を志す者が、金銭的な理由で海外での勉強を断念するのが現実です。私がこうして変えることの出来ない素晴らしい時間を過ごせたのは、ロータリーの奨学生であったからです。本当にありがとうございました。また、奨学金の面接を受けた時には、金銭的なもの以外でこんなに力になって下さるなんて思っ



ウィーンインターナショナルRCでガバナー交換
クラブ会長シャロン・エーリッヒさんと

て居らず、留学中何度助けられたか分かりません。時差があってもいつも迅速に対応くださり、困った時は親身になって一緒に考えて下さり、心から応援して下さるロータリーの方がいらした事は、私の海外生活で大きな支えになりました。重ねて深く御礼申し上げます。この留学で得た事を、人生の中で、そして音楽の中で還元し社会に貢献できる様に、引き続き精進して参りたいと思います。ご静聴ありがとうございました。

○今後のコンサートのお知らせ

山口友由実 朝倉春菜
デュオコンサート Vol.3
～歌とピアノの冬の調べ～




Vol.3コンサートより

山口友由実 (Pf.)

朝倉春菜 (Sop.)

<p>ピアノ独奏曲 1曲目「ワルツ」(18世紀)</p> <p>ムハイドン ピアノソナタ第59番 Op.10 No.54 Ex.4a シューマンリスト 賦音</p> <p>シ.バーンスタイン 「キャンディード」より 「まらびやかに踊って」 「ワルツ」(モーツァルト)より ——その他</p>	<p style="text-align: right;">2016年12月11日(日)</p> <p>第1部 12時開場 13時開演 第2部 16時開場 17時開演</p> <p>会場 ピアノカフェ・ショパン 【バスでアクセスの方】神奈川中央交通バス 「駅32」乗車 「小野路」下車</p> <p>チケット 各公演共に¥2000 前払券30名</p> <p>チケットお問い合わせ (ピアノカフェ・ショパン) 042-734-1889 (Tel&Fax) 〒195-0064 (駐車場あり) 東京都町田市小野路町4294-1 piano.cafe.chopin@com.home.ne.jp</p>
---	--



http://www.piano.cafe.chopin.ne.jp

■次週の卓話 12/7(水)年次総会

「疫病予防と治療フォーラム」 福村 正会員
週報担当 今野 丁三

平成28年度10月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安藤公一	25	75	100	21	齋藤善孝	100	0	100
2	安藤達雄	-出席規定免除-			22	佐藤真吾	50	50	100
3	青木邦弘	100	0	100	23	佐藤利明	100	0	100
4	福村正	75	25	100	24	関口友宏	100	0	100
5	後藤英則	100	0	100	25	鈴木茂之	75	25	100
6	兵藤哲夫	75	25	100	26	田川富男	100	0	100
7	市川慎二	100	0	100	27	滝澤亮	100	0	100
8	五十嵐正	100	0	100	28	内田敏	-出席規定免除-		
9	北澤正浩	100	0	100	29	矢田昭一	-出席規定免除-		
10	今野丁三	-出席規定免除-			30	吉野寧訓	-出席規定免除-		
11	倉本宏昭	-出席規定免除-			31	吉原則光	-出席規定免除-		
12	増田嘉一郎	100	0	100	32				
13	本山雄三	75	25	100	33				
14	新川尚	100	25	125	34				
15	二宮麻理子	100	0	100	35	高梨昌芳	名 誉 会 員		
16	二宮登	100	0	100	36				
17	岡田清七	-出席規定免除-			37				
18	太田勝典	-出席規定免除-			38				
19	太田幸治	-出席規定免除-			39				
20	大川伸一	75	25	100	40				
例会日	5日	12日		19日		26日			平均
例会出席率	$\frac{25}{27}$	92.59%	$\frac{19}{25}$	76%	$\frac{26}{26}$	100%	$\frac{23}{25}$	92%	
修正出席率	$\frac{27}{27}$	100%	$\frac{25}{25}$	100%	$\frac{26}{26}$	100%	$\frac{25}{25}$	100%	100%